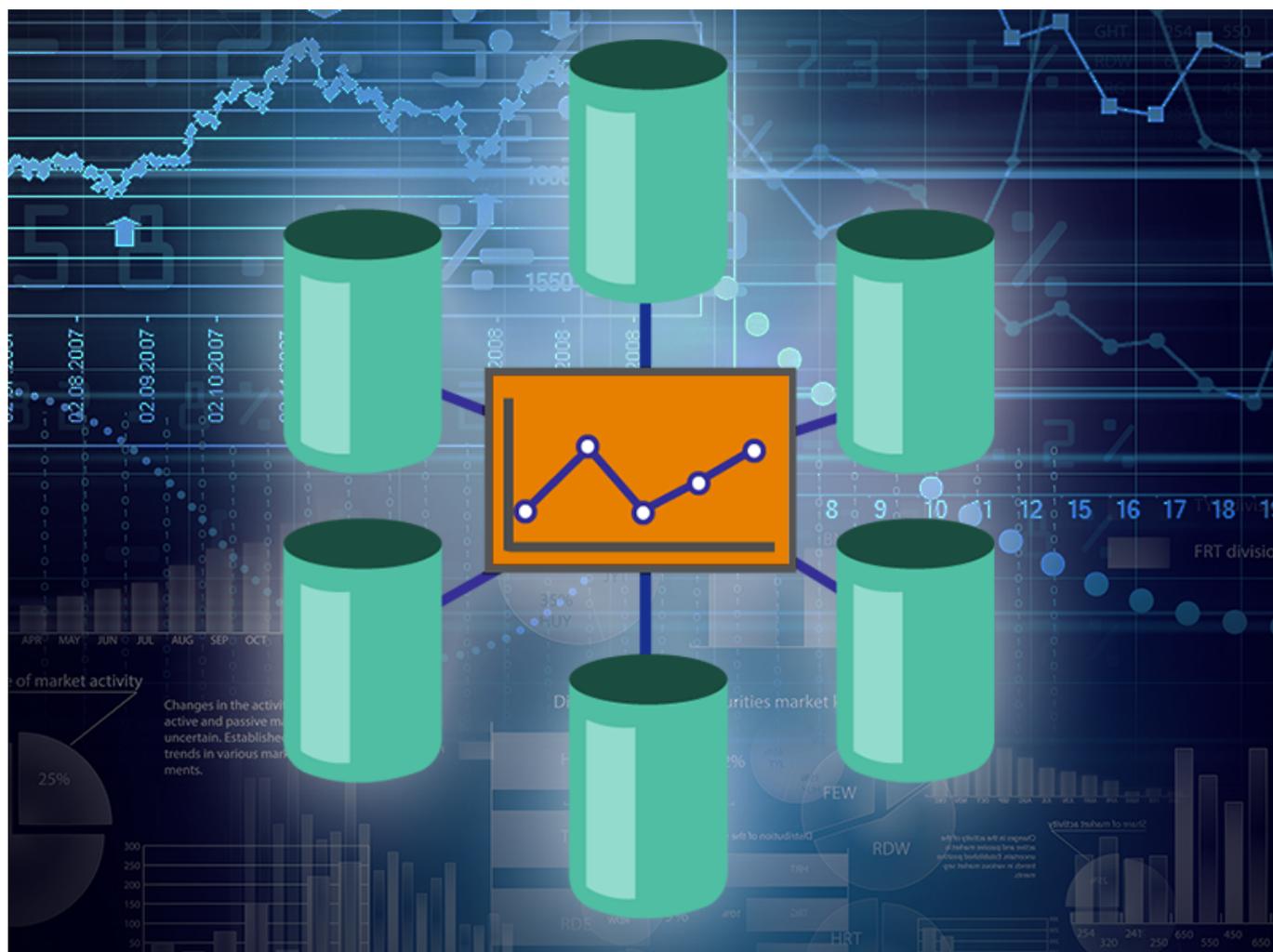


## 記事

[Toshihiko Minamoto](#) · 2021年5月31日 3m read

## DeepSee: データベース、ネームスペース、マッピング (4/5)

以下の記事では、DeepSee のより柔軟なアーキテクチャ設計の概要を説明します。 [前の例](#) で説明したとおり、この実装には、DeepSee キャッシュや DeepSee の実装と設定、および同期グローバル用の個別のデータベースが含まれています。この例では、[DeepSee インデックス](#) を保存するための新しいデータベースを紹介します。DeepSee インデックスがファクトテーブルや次元テーブルとともにマッピングされないように、グローバルマッピングを再定義します。



### 例 3: 完全に柔軟なアーキテクチャ

#### データベース

APP-FACT データベースはファクトテーブルと次元テーブルしか保存しないのに対し、アナリティクスサーバーは、中間的な例で前に定義したデータベースに加え、インデックスを保存する APP-INDEX データベースを導入します。インデックスをファクトテーブルから分離するのは、インデックスのサイズが大き

